

分野	専門分野Ⅰ －基礎看護学－	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	看護学概論Ⅱ (看護研究・安全管理) Introduction to Fundamental Nursing Ⅱ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	看護師として附属病院で9年間の実務経験有		
授業概要	<p>看護の現象から課題を見出し、研究として取り組むことで課題に取り組む姿勢を養う。看護研究を通して科学的思考により看護実践の根拠が明確になることを学び、看護をより良いケアにつなげるための看護研究の意義を学ぶ。</p> <p>また、対象の発達段階や健康障害によって、医療環境には多くの危険が潜んでいる。その環境は、医療従事者にとっての危険も潜んでいる。安全管理の視点から医療事故について学び、看護師は対象や自分自身の安全や安楽を守る重要な役割をもっていることを学ぶ。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義を理解する。 2. 疑問を解決する方法を身につける。 3. 研究の一連の流れに沿って看護研究を行う。 4. 安全管理の意義と援助方法を理解する。 5. 対象の尊厳に配慮する態度を養う。 6. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。 7. 主体的に取り組む姿勢を養う。 		
評価方法	<p>終講試験 80点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護における研究 50点 ・安全管理技術 30点 ・看護研究グループ提出物 20点 		
使用テキスト	<p>看護研究こころえ帳 医歯薬出版 看護のためのわかりやすいケーススタディのすすめ方 照林社 系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 看護学概論(医学書院) 系統看護学講座 統合分野 医療安全(医学書院)</p>		
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
メッセージ	興味、関心をもったことを調べる姿勢がとても大切です。方法にとらわれず、さまざまな角度から考えてみましょう。安全管理では、医療現場の様々な危険に関する知識やルールの背景にある根拠を学びます。対象だけでなく、自分自身を守るためにも、必要な知識や考え方をおさえましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	Ⅰ 看護における研究 1.看護研究の意義	看護研究の意義を理解する	研究とは 看護研究とは	講義	
2	2.看護研究における倫理	人を対象とする場合の倫理的配慮について理解する	人を対象とする場合の倫理的配慮 看護に対するインフォームド・コンセント	講義	
3	3.研究デザイン	看護研究の種類について理解する	看護研究の種類 1) 事例研究 2) 実験研究 3) 調査研究	講義	
4	Ⅱ 研究の実際 1.研究課題を明らかにする	研究計画書の意義と研究計画書までのプロセスについて理解する	研究計画書の意義 研究計画書までのプロセス	演習	
5	2.文献検索	研究論文の読み方を理解する	研究論文の読み方 文献を読む	演習	

6	3.文献の整理	研究計画書を作成する	研究計画書の作成 グループで作成	演習	
7	4.テーマの絞り込み	文献検索の方法を理解する	文献検索 グループで文献検索	演習	
8	5. 論文の作成 ①	研究論文を作成する	研究論文の作成 グループで論文作成	演習	
9	6. 論文の作成 ②	研究論文を作成する	研究論文の作成 グループで論文作成	演習	
10	7.文献研究の 発表	研究結果を発表する	研究結果の発表 グループ毎に発表	演習	
11	Ⅲ安全管理技術 1.医療における 安全	安全管理の意義と援助方法を 理解する	医療における安全 抑制	講義	
12	2.診療の補助業 務上の安全 管理	診療の補助業務上の安全管理を 理解する	診療の補助業務上の安全管理 注射、輸血、与薬、経管栄養等	講義	
13	3.療養生活の安 全管理	療養生活における安全管理を 理解する	療養生活の安全 転倒、転落、誤嚥、異食、入浴中の事故、患者の 取り違え	講義	
14	4.医療事故防止	医療事故防止について理解する	医療事故	講義	
15			終講試験		